

平成30年11月26日

嘉麻市長 赤間 幸弘 様

嘉麻市行政経営推進審議会
会長 山崎 克明

嘉麻市行政改革実施計画の実施状況（結果）及び行政評価について（答申）

平成30年10月1日付けで貴職から諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議を行った結果に基づき、下記のとおり答申いたします。

記

1. 平成29年度行政改革実施状況について

嘉麻市では、合併当初の危機的財政状況を打破するため、平成18年度から平成22年度までの5ヵ年間で、全140項目にわたる厳しい第1次行政改革に、また、引き続き平成23年度から平成27年度までの5ヵ年間で、全41項目にわたる第2次行政改革に取り組み、一定の成果を得ました。

現在は、平成28年3月に策定された第3次行政改革大綱及び第3次行政改革実施計画に基づき、平成28年度から平成32年度までの5ヵ年間で「収支不足による市民サービスへの重大な影響の回避」を基本目標として、さらなる行政改革の取組が進められているところです。

今年度の審議会では、第3次行政改革実施計画の平成29年度の実施状況について諮問を受け、確実な行政改革の実行について、各項目の進捗状況はもちろん、今後の取組のあり方なども含め、総合的に審議を行ってきたところです。

審議過程においては、必要に応じて所管課に関係資料の提出等を求めながら議論を重ねてまいりました。

その結果、平成29年度の実施状況については、全51項目のうち8項目が既に完了している点や、効果額について、平成29年単年度の目標値を下回るものの、平成28年度及び平成29年度のトータルでは目標値を上回っており、審議会としても一定の評価をるところです。

地方交付税の合併算定の段階的縮減や人口減少に伴う税収の減少などにより、今後さらなる厳しい財政状況が見込まれる中、嘉麻市が自立した自治体として確固たる行財政基盤を構築するためには、限られた行政資源を効率的かつ集中的に運用するとともに、事業の見直しや改善を積み重ねるなどの不断の努力により、さらなる行政改革に取り組んでいくことが肝要である中、審議会としては、本年度以降については、再度行政改革実施計画の目標を認識し、一定の成果を求めるとともに、将来の世代に過度の負担を残さないよう、行政改革の取組を継続されることを求めます。

また、今後の市の取組の一助となるべく、行政改革に取り組む上で留意すべき事項等を取りまとめましたので、今後の取組に活かされることを強く要請します。

最後に、市長はじめ職員の皆様には、自治体経営の責任者・担当者として、嘉麻市の経営に取り組んでいただくことを強く求めます。

審議会意見

【総括的意見】

■ これまでの取組の総括について

合併後、行政改革に取り組んで12年が経過し、当審議会においても各年度答申を行い、意見を述べてきたところです。市として、これまでの取組について振り返り、審議会意見についても、市の取組にどのように活用されてきたのかなどを総括し、今後さらなる行政改革を進めていくことを求めます。

【個別事項に対する意見】

■ No11 基金の効率的運用

基金の運用に関しては、低金利状態であるため、一定の成果が出ないことについて致し方ないと考えます。しかしながら、定期預金に比べると、若干ではあるが債券のほうが利回りがよいため、今後も弾力的に運用を行うことにより、わずかながらも運用収入を増やしていく努力を行っていくべきであると考えます。

■ No37 観光協会設立による観光業務の委託

観光業務を担っている、観光協会、(株)嘉麻スタイル及び道の駅うすいの役割分担が、非常に複雑となっています。市がそれぞれの役割を明確に示し、観光協会、(株)嘉麻スタイル、道の駅うすいそれぞれの利点を最大限に活かせるよう検討されることを求めます。

■ No41 美術館等管理運営業務の指定管理者の導入

美術館等への指定管理者導入については、年次計画で定める取組が遅延しているも

の、各施設の今後の方向性を定めてから、具体的に着手するという方針については理解します。しかしながら、第3次行政改革実施計画の策定から約2年が経過し、具体的な進捗が見られない現状を踏まえると、担当課の取り組む姿勢などに課題があったと判断せざるを得ません。

指定管理者の導入に当たっては、コスト低減やサービス水準など多角的な分析が必要であり、時間を要することは理解しますが、早期に具体的な作業に着手されることを求めます。

■ No 42 嘉穂ふるさと交流館の廃止

嘉穂ふるさと交流館内に保管している収蔵品が大量にあるとのことですが、平成32年度の施設の廃止に向けて、計画的に整理を行うことを求めます。また、他の施設に保管している収蔵品についても、1つの施設に集約し展示するなど文化財を効率的に管理する方法について早期に検討するべきであると考えます。

■ No 49 職場における男女共同参画意識の徹底

市役所の職場内における男女共同参画の取組については、昨年度に引き続き評価するところです。しかしながら、職員の意識を変えていこうということだけではなく、市を背負っていく女性市民を育成するということまで考えていかなければ、男女共同参画社会は実現しないと考えます。例えば、女性有識者会議といったような一定のテーマを議論し市へ政策提言を行うような会議を設けるなど、女性人材育成プログラムを職場だけでなく市民に対しても行い、人材を発掘し育成していくような仕組みを設け、女性の能力を高めるベースづくりを行い、市が底上げをしていく取組について検討されることを求めます。

2. 平成29年度行政評価について

嘉麻市では、平成20年度の行政評価制度試行後、翌年度より制度の本格的な導入を図ってきたところです。

平成22年度からは嘉麻市外部評価委員会を設置し、また、昨年度は嘉麻市行政経営推進審議会において、外部の視点から事務事業評価の検証を行ってきました。

今年度についても、平成29年度行政評価の検証評価について諮問を受け、審議を行ってきたところです。

所管課が行った内部評価について、市長をはじめとする職員で組織する行政経営推進本部において行った二次評価の結果に関し、「二次評価が正しく行われているか」また「二次評価後の事務事業評価表は、妥当な内容となっているか」に重点を置き、様々な角度から意見を述べ、議論を重ねてまいりました。

その結果、審議会としては、次のような評価を行いました。

審議会意見

二次評価については、各事業の内容及び所管課の評価内容を十分に検討した上で評価されており、審議会としてはその評価が正しく行われているものと評価します。

今後においても、幹部職員が二次評価を行うことにより、各事業に関し、限られた行政資源をより効率的かつ集中的に運用し、よりよい事業の見直しや改善ができるものと考えます。

この二次評価の結果を踏まえ、今後の事業に取り組まれることを求めます。

また、審議会としても、補足的な意見をいくつか取りまとめましたので、今後の取組に活かされることを強く要請します。

■ 発達支援連携事業

言語、運動、社会面において発達が気になる乳幼児への対応については、様々なケースが想定されるため、多くの時間を共にしている保育士や先生等がじっくり観察し支援を行っていく必要があると考えます。

二次評価結果にもあるように、切れ目ない支援を行うため、保育所、幼稚園及び学校等が連携を強化することを求めます。

■ 敬老事業

敬老事業については、地域の高齢化が進んでいることから、行政区などの小さな単位で実施することが困難になっているのが現状です。旧市町単位などより大きな区域で、事業の実施を外部に委託することにより、効率的に事業を実施することができ、内容もよりよいものになると考えます。

高齢化が進んでいるため、今後事業コストが増加していくことは明らかです。事業の内容や対象年齢を見直すなど、今後の敬老事業の在り方について、早急に検討されることを求めます。

■ 有害鳥獣対策事業

近年、有害鳥獣対策は、他の市町村においても問題となっているようです。

二次評価結果にもあるように、対策を効果的に進めるため、近隣自治体との連携を強化することが必要であると考えます。

また、有害鳥獣駆除員等も高齢化していることから、科学的な対策についても検討されることを求めます。

■ プロジェクトK事業

事業の内容について、発達支援連携事業に活用できるような内容が多く含まれてお

り、事業を統合することなどにより、合理化できる部分があると考えます。

事業を効率的に実施するため、また、事業の効果をより一層高めるため、関係課等と連携し、事業を進めていくことを求めます。

■ 観光まちづくり事業

より魅力的な観光メニューを確立するため、二次評価結果にもあるように、現在行っているツアーや参加者等の経年的変化を把握し、事業の成果について整理を行った上で、新たな観光事業を検討するべきであると考えます。

■ 教育センター事業

事業の内容について、発達支援連携事業に活用できるような内容が多く含まれており、事業を統合することなどにより、合理化できる部分があると考えます。

事業を効率的に実施するため、また、事業の効果をより一層高めるため、関係課等と連携し、事業を進めていくことを求めます。

4. 審査の経過について

平成30年10月1日から5回にわたり、次のとおり審議を行いました。

回	開催日時	開催場所	審査の概要
1	10月1日	嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室2	<ul style="list-style-type: none">・ 諮問・ 審議会日程の確認・ 第3次行政改革平成29年度実施状況の審議
2	10月15日	嘉麻市役所 碓井庁舎3階 第3委員会室	<ul style="list-style-type: none">・ 第3次行政改革平成29年度実施状況の審議・ 外部評価実施方法の概要説明
3	10月29日	嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室2	<ul style="list-style-type: none">・ 外部評価の実施
4	11月9日	嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室3	<ul style="list-style-type: none">・ 答申書案の審議
5	11月26日	嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室3	<ul style="list-style-type: none">・ 答申書案の審議・ 答申書の提出

5. 嘉麻市行政経営推進審議会委員名簿

氏 名	肩書等
(会長) 山 崎 克 明	北九州市立大学名誉教授
(副会長) 松 岡 光 昭	嘉麻商工会議所
吉 岡 滋 樹	九州北部税理士会飯塚支部税理士
大 熊 孝 二	福岡銀行稲築支店長
吉 安 勝 行	嘉麻市誘致企業振興会会長
村 上 曙 生	嘉麻市行政区長連合会代表者会会長
大 森 成 順	嘉麻市民生委員・児童委員
上 野 美 智 子	男女共同推進ネットワーク会員
川 原 幸 二	公募委員
富 崎 静 江	公募委員
西 村 光 昭	公募委員
松 田 クニ子	公募委員

※任期：平成30年8月1日～平成32年7月31日